



# KYCアソシエイツ認定資格(CKYCA)

KYCアソシエイツ認定資格(Certified Know Your Customer Associate, CKYCA)は、金融犯罪防止に必要な不可欠なKYC/CDDのプロフェッショナルの新たなグローバルスタンダードとなる、ACAMSの新たな認定資格です。

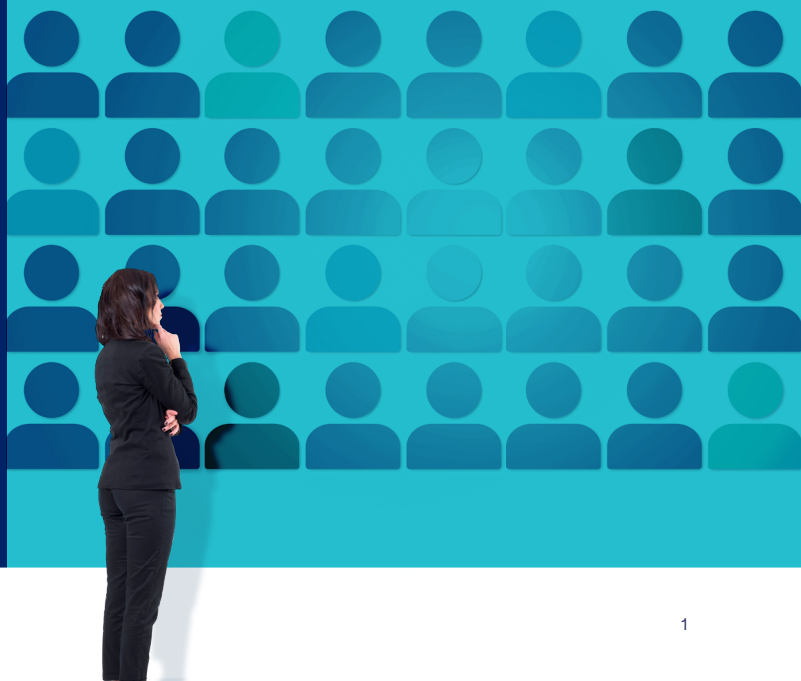
CKYCAは、金融機関の保護において重要な役割を担う第一線の業務部門向けに開発された認定資格です。

## ACAMSがCKYCAを開発した理由

KYC/CDDは、ACAMSの使命である金融犯罪防止において非常に重要な位置を占めています。顧客オンボーディングの際にKYC/CDD業務を確実に遂行することが求められる担当者は、CKYCAを取得することで、不正行為を働く恐れのある個人や組織によるサービスへのアクセスを未然に検知し、報告する手段を学ぶことができます。ACAMSは、KYC/CDDに関するトレーニング資料と資格試験を提供することで、担当者への学習支援と証明資格を提供し、金融機関が金融犯罪リスクを軽減するための支援を提供したいと考えています。

## CKYCA認定資格を取得するメリット

この試験による認定資格は、組織の第一線の業務部門が顧客確認(KYC)と顧客管理(CDD)業務に関するコンピテンシーを確実に満たす手段を提供します。CAMS認定資格(AML認定資格のゴールドスタンダード)の開発チームによって開発されたCKYCAは、新しいグローバルベンチマークに基づいて従業員を資格認定することで、組織のAMLに対する姿勢をしっかりと打ち出すことができます。



## CKYCA認定資格の対象者

### このプログラムは主に以下の方を対象としています:

CKYCAは、KYC/CDDに現在従事している初期段階にある従業員、もしくは将来的に携わる予定のある専門職の従業員、およびそれらを監督する立場にある方を対象としています。6～12か月の実務経験とCKYCAの取得で、最小限の監督指導によりデュー・デリジェンス業務を抜本的に強化・実行し、高リスクのケースも適切にエスカレーションできるようになります。

### CKYCAは以下の職種に従事する方に適しています:

- KYCアナリスト
- KYC/CDDアナリスト
- KYCオンボーディング・アナリスト
- KYC担当者
- KYCチームリーダー
- 顧客オンボーディング・アナリスト
- 顧客オンボーディング・スペシャリスト
- AML防止担当者

## パッケージ内容と価格

グループ価格については[こちら](#)からお問い合わせください。

### このパッケージには以下が含まれます

- 電子版スタディガイド(PDF)
- フラッシュカード
- オンライン学習資料(事後評価)
- 模擬試験
- 試験1回分

US\$1,045

## 取得方法

### 1. ACAMS会員登録をする

認定資格の試験申込みおよび維持にはACAMS会員資格が必要です。

### 2. 試験準備とお申込み

学習コースを完了後、試験申込みフォームを提出します。

### 3. 試験のご予約と試験合格

試験のお申込みが承認されると、試験の日程調整に関するご案内がEメールで届きます。試験に合格して認定資格を取得し、継続的な会員資格と履修を通じて資格を維持してください。

## CKYCA試験の対応言語:

- 中国語(簡体字)
- 中国語(繁体字)
- オランダ語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- スペイン語

# CKYCA試験で検証される従業員のコンピテンシー

## 1. 顧客の本人確認

---

- 1.1. 顧客のタイプを見極めることで必要な情報を評価し、必要に応じて情報源を調査して情報の欠落部分を埋める
- 1.2. 全体の確認作業を行う
- 1.3. ダミー会社の可能性や税務コンプライアンスに特に留意して、アカウントの性質や目的を評価する
- 1.4. UBO や関連当事者、サードパーティを割り出す
- 1.5. 口座の入出金状況から過去の情報を再確認・再検討する

## 2. 顧客のスクリーニング

---

- 2.1. 制裁コンプライアンスに合わせてスクリーニングを行う
- 2.2. 顧客情報(否定的なニュース情報を含む)の主要情報源と2次情報源を調査し、情報の信頼性と関連性を評価する
- 2.3. 制裁チェックと取引モニタリングにおいて重要な調査結果と重要でない調査結果を区別し、必要に応じて確認する

## 3. 顧客リスクを評価

---

- 3.1. コア・リスク・カテゴリ(顧客、商品、国、チャネル)に基づいて顧客リスクを評価する
- 3.2. マネー・ローンダリング、制裁回避、贈収賄・汚職、脱税などの可能性のある重要なレッド・フラッグを認識して明らかにする
- 3.3. 運用資産のリスクを分析する
- 3.4. 企業のリスク評価・リスク選好度およびエスカレーション要件に対するリスクスコアリングを評価する

## 4. 強化された顧客デュー・デリジェンス(EDD)を実施

---

- 4.1. 資産をどこから得ているか、その源泉について詳細情報を確認・入手する
- 4.2. UBO の複雑な所有権構造について調べる
- 4.3. リスクレベルの裏付けに基づき、顧客との取引を維持するか、終了するか、もしくはさらなるEDDをエスカレーションするかどうかを決定する
- 4.4. 口座の入出金状況に対するレビューを行う

## 5. 顧客プロフィールの作成

---

- 5.1. データプライバシー要件を適用、データエラー問題を明らかにする
- 5.2. 客観性と精度のあるプロフィールを効率良く作成し提示する
- 5.3. オーディット・トレイルを作成する
- 5.4. 定期的な審査またはイベント・トリガーに基づいて顧客プロフィールを見直し・更新する